



# Salesian Sisters 管区サポートセンターだより

## 特別号



サレジアン・シスターズ日本管区

2020年5月発行

2020年度は、どんな年になるのか、新年を迎え、新たな夢と希望をもって、始めたこの一年ですが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、世界中が今、このウイルスと闘っています。この一年のさまざまな行事や計画が次々と中止になるニュースが入り、特に日本ではオリンピックという一大イベントが延期になるとは、誰もが想像していませんでした。それに伴い、人々の生活まで脅かされるようになり、日本国民もそうですが、滞日外国人や技能実習生、留学生など、バックに支援する人を持たない人たちが困窮生活を強いられています。国外のニュースは、もっと悲惨な状況を伺い知ることができます。

この叫びに応じて、私たちサレジアン・シスターズは、日本管区として、私たちの祈りと犠牲とともに献金や物資をもって、国内外の貧しい人や青少年のために支援することとなりました。国外では、本部の総財務 Sr. ヴィルマ・タローネにもこのことをお伝えすると、さっそくエクアドルとガボン、さらにブラジルのアマゾンにあるマナウス管区の支援を願われ、送金いたしました。また、国内では、さいたま教区の山野内司教様から Sr. 森下管区長に相談があり、コロナの影響で困窮状態に陥っている 2 か所の支援を願われましたので、そちらにも送らせていただきました。

この新型コロナウイルスが早く終息しますように、また皆様のご健康を祈りながら…。

# 1. 「良い条件で学ぶために若者に飲み水を」プロジェクト



FMA-AEC 管区 - ガボン - アフリカ

## 【アフリカ、エクアトリアール(赤道直下の)管区の紹介】

この管区はカメルーン、コンゴ共和国、ガボン、赤道ギニアの4か国からなり、60人のシスターが10の共同体で活動しています。管区本部はガボンのリーブルビルにあります。

### ガボン - Oyem

サレジアン・シスターズは1971年からガボンの Oyem に支部を開設しました。現状では、異なる国々の4名の会員からなり、院長は Suor Marie Marthe EKENG BI NDONG で、3名の志願者もいて、全共同体が、特に最も貧しい少女たちに目を配りながら、全人間的教育と開発教育に力をいれて働いています。

シスターたちは、病院の後ろの地域と言われているカテドラルの近くの司教の所有地で使命を展開しています。

そこは標高 676 メートルの地で、日中は水を受け取ることができません。



## よい条件で学ぶために若者に飲み水をプロジェクト

### ガボンの現状

市からの配水は、順調ではなく、日中(平日、週末)も断水になることが多く、ポトポトと蛇口から落ちる水を貯めているが、これだけの若者の生活を保障するためには、殆ど水不足状況にある。彼女たちの衛生を確保するため、特に今コロナの感染拡大を前にして、市からの配水に頼らず、自前で井戸を持つ必要性に迫られている。



ここに井戸を掘る予定です。

### ～ガボンよりお礼の手紙～

管区長様 シスターの皆様

ガボンの OYEM のわたしたちの共同体に井戸を掘るための支援についてのよいお知らせをいただきました。私たちと水を必要としている子どもたちや若者たちにとって天からのたまものです。特に、このコロナウイルス蔓延の時期、水の必要性はとても大きいです。どのように感謝申し上げてよいか言葉がありません！！

有難う、有難う！心から感謝いたします。（私たちの心は日本に飛んでいます）

計画が実現した暁には写真をお送りいたします。

できるだけ早くお送りできると希望しております。

管区長 Sr Leen Mestdagh AEC





## 2. 新型コロナウイルスによる

### 緊急突発事に対応するためのプロジェクト

南米エクアドル管区

#### 【エクアドル管区について】

管区本部は首都キトのエルドラドにある。

117 年前に宣教開始。28 の支部がある。

地理的に広範に及び、活動も多岐にわたっている。



#### エクアドル管区の教育活動概要

学校、青少年センター、危険な状況にある少女たちのためのシェルター、

職業訓練のための作業場、アマゾン先住民族のためのミッションなど。

#### 【プロジェクトの内容】

2020年2月29日にコロナウイルス最初の感染者発生。すぐに感染が拡大し、ブラジル、チリに続いて南米で3番目に感染者数が増えた。ブラジルやチリに比して人口が少ない(1700万)ので感染率は非常に高くなっている。この状況にあって、エクアドル管区が活動している都市の中で、特に12の都市で貧困状況にある家族のために食料と生活必需品を提供する必要に迫られている。この必要に応えるためのプロジェクトである。



## ～エクアドルよりお礼の手紙～



管区長様はじめ日本管区のシスターの皆様

エクアドル管区のシスターたちの名によって、皆様が全員健康に恵まれていらっしゃる信じ、私たちの心からのご挨拶をお送りいたします。

皆様が、総財務を通して、私たちの管区中のいたるところで命を失いつつあるコロナに対するプロジェクトのために、私たちにお送りくださったご支援に対する感謝を表したくこの手紙を認めております。

現在のこのパンデミックを前にして私たちが遭遇している状況は、政治家が健康、教育、共通善の探求において問題を解決できていない状況とも合わせて、大変困難を極めております。この状況のなかでの皆様の支援は、まさに私たちにとっての祝福であり、神が貧困者や助けを求めている人々に出会いに来られたことの明白なしるしです。

極度の必要に迫られた状況での生活を強いられている家族を支援できる皆様からのご支援に心から感謝申し上げます。



愛をこめて皆様のために、シスター一同お祈り申し上げます。神と扶助者聖マリアが皆様の寛大さと連帯を祝してくださいますように。

心から感謝をこめて

エクアドル管区 管区長  
*Sor Cruz Mar í a Piña P.*



### 3. 一杯の愛のお米プロジェクト

#### プロジェクトの説明が書かれたお礼の手紙

一杯の愛のお米プロジェクトは、4月9日に発足しました。目黒教会のヒエン神父と川口教会のシスターマリアと私で立ち上げたプロジェクトです。4月から多くの方から「食料が困っている」や「仕事がなく、生活出来ない」というメッセージが入って来たからです。川口教会に住んでいる愛徳姉妹会のシスターたちとイエズス会社会司牧センターで働いている私は窓口になっています。食品を分配する時、主任司祭カン神父様のご理解を得て、川口教会で、少人数で作業してきました。



当初、食品が困っている人々が少ないと思っていたが、日本中から申請がたくさん来ています。先週の土曜日まで約700人分を送りました。

私たちはベトナム人の共同体に呼びかけて、お米が余る人々からお米を送って頂き、他の食品をたくさん持っている人々から食品を送って頂いています。もちろん現金を寄付してくれた方々もいます。お金を頂いて、足りていない食品を買って、準備して、困っている人々へ送ります。今まで一人分は以下のようです。

米 5キロ	揚げ油 1リットル
ナンプラ 1リットル	砂糖 1キロ
ラーメン 5個	マスク 2枚
カップラーメン 2個	お菓子やふりかけなど

これらの食品を用意するために約5千円かかります。また、宅急便代は大体1500円で、合計、一人分は約6千500円です。

現時点のリストでは、300人以上が送ってもらうのを待っている状態です。このリストは個人情報を守るために、見せることができませんが、簡単に数えてみたら、長崎教区や広島教区だけで42人、大阪教区は、約50人、名古屋教区は60人、埼玉教区は40人、東京教区は35人などです。

私たちは最初困っている人々が少ないと持っていたので、小さな規模で何とか出来ると思っていました。今、この状態になっているので、もっと多くの方々のご協力が必要だと分かってきました。すでに、山口県にある下関労働教育センターの方々とディン神父と名古屋教区で働いているタン・ヒ神父と若者たちの協力を求めています。今のところ活動し方について話し合っています。これから出来る範囲までやり続けたいと思っています。

どうかお祈りのご協力をして頂ければ幸いです。

2020年4月30日  
イエズス会社会司牧センター  
ヨセフ・グエン・タン・ニャーSJ

※支援先は川口教会へ

〒332-0012 川口市本町2-4-15 TEL 048-222-3588

★現在、サレジオ神学院を中心とした支援チームがここにも物資を送ってくださっています。

## 4. アミーゴスの会プロジェクト

### 現状が書かれたお礼の手紙

サレジアンシスターズ日本管区  
管区長様 シスターの皆様

主の平和  
ご復活のキリストに感謝いたします。



私は、特定非営利活動法人北関東医療相談会の事務局長  
またさいたま教区終身助祭の長澤正隆と申します。  
この度は、カトリックさいたま教区山野内倫昭司教様のご紹介で  
御支援いただき、ありがとうございます。

昨日まで、コロナウイルスについての対応を考え、費用の捻出を祈っていました。  
私が、支援している人々は健康保険の無い外国籍の人々です。  
仮放免者、難民申請中の者、非正規滞在者、技能実習生を辞めた人、  
留学生を辞めた人です。  
皆、お金がなくいつも家賃の心配をし、明日食べる物にこと欠く人々です。  
体温計を買うことも、マスクを買うことも、消毒液を買う事も出来ない人々です。  
昨日までにマスク 2000 枚を送ることができました。  
今後のことを考えると心配していました。

心よりお礼申し上げます。

HP は以下から入れます。

<http://npo-amigos.org/>

FB について

<https://www.facebook.com/amigos.npo>

祈りのうちに



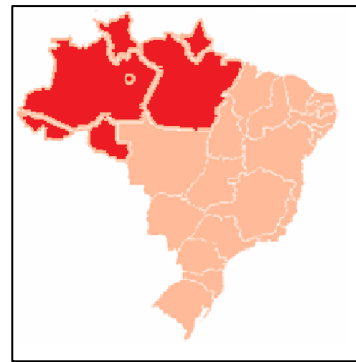
終身助祭 長澤正隆



## 5. ブラジル アマゾンのマナウス管区支援

### 【マナウス管区について】

ブラジルには管区が7つあり、マナウス管区はその1つである。管区本部はマナウスにある。ほとんどがアマゾン地帯に位置し、アマゾンの先住民のために司牧を行っている。



2020年5月28日

マナウス

管区長様、姉妹の皆様

「この最も小さな者の一人にしたのは、  
すなわち、私にしたのである」。

(Mt 25.40)

心からのご挨拶をもって、皆様が美しくおごそかな聖霊降臨を迎えられることを願っております。皆様の管区において、聖霊が、その歩みと使命を導く力強い光となりますように。

皆様が私たちに示してくださった兄弟的な連帯のしるしのために、ラウラ・ヴィクニャマナウス管区の姉妹の名によって、感謝いたします。皆さんの寛大な助け、献金による分かち合いで子どもたち、若者とその家族、ベネズエラからの移住者にも注意を払い、コロナウイルスのパンデミックという困難なときに、人々を助けることができました。

まさにドン・ボスコとマードレ・マザレロが望まれる家族的精神をもって、私たちに示された皆様の寛大さ、心遣いに感謝いたします。

祈りのうちに…

管区長 Sr.カルメリータ・コンセイソン

